

「夢と自立へ一歩前進」

令和6年7月19日 15号

文責 進路指導主事 岸谷

71日間あった1学期で、それぞれの夢と自立に向けて何歩前進しましたか？今年度初めと、今週に行った「キャリア教育の資質能力に関するアンケート」の結果で、特に気になった項目を下の表にまとめました。**この結果から、「自分たちはどこが成長したのか？どこが課題なのか？」**と考えることもみなさんの成長につながります！

質問項目	学年	4月	7月
あなたは、どの程度「実行力（計画だけで終わらない、口先だけで終わらない）」がありますか？ → 実行力がある+まあまあある	1年生	87%	80%
	2年生	38%	31%
	3年生	53%	33%
あなたは、どの程度「論理的思考力（筋道を立てて考える、要点をまとめる）」がありますか？ → 論理的思考力がある+まあまあある	1年生	47%	87%
	2年生	63%	75%
	3年生	47%	33%
あなたは、どの程度「創造力」がありますか？ → 創造力がある+まあまあある	1年生	67%	67%
	2年生	38%	50%
	3年生	42%	63%

数値が上昇したものは青、数値が下降したものは赤

「進路情報チェック板」

□高校の「オープンスクール」は、制服で参加しましょう。



□自分が「オープンスクールに参加する高校のHP」は、定期的に

チェックしましょう！特に、オープンスクール前日と当日には

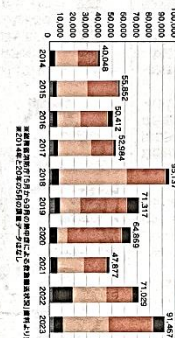
必ず確認しましょう！

※裏面に、夏休み中に気をつけてほしいことに関する新聞記事を載せているので、確認をお願いします。2学期の始業式で、元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。今日の集会で伝えたとおり、「**これくらいなら大丈夫だろう**」という気持ちと戦いながら、**安全第一・健康第一**で過ごしてください。

夏休み 子どもの熱中症に注意を



【図1】熱中症の危険場面



【図3】熱中症の危険場面

熱中症は、高温多湿の環境で長時間活動すると発生しやすくなります。特に、直射日光が当たる場所や、換気が不十分な屋内で過ごすことが危険です。

【図4】熱中症の危険場面

熱中症の危険場面には、長時間の運動、直射日光の直射、換気の悪い屋内での滞在などが挙げられます。特に、高齢者や子どもは熱中症に陥りやすいため、注意が必要です。

【図5】熱中症の危険場面

熱中症の危険場面には、長時間の運動、直射日光の直射、換気の悪い屋内での滞在などが挙げられます。特に、高齢者や子どもは熱中症に陥りやすいため、注意が必要です。

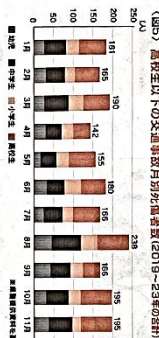
小まめな水分補給と休憩が大切

熱中症を予防するためには、こまめに水分を補給し、定期的に休憩をとることが大切です。特に、子どもは脱水症状になりやすいため、注意が必要です。

【図6】熱中症の危険場面

熱中症の危険場面には、長時間の運動、直射日光の直射、換気の悪い屋内での滞在などが挙げられます。特に、高齢者や子どもは熱中症に陥りやすいため、注意が必要です。

高校生以下の死傷者数 8月が最多



【図6】熱中症の危険場面

熱中症の危険場面には、長時間の運動、直射日光の直射、換気の悪い屋内での滞在などが挙げられます。特に、高齢者や子どもは熱中症に陥りやすいため、注意が必要です。

子どもの交通事故防止 小学生向け教室を開催



【図7】交通安全教室の様子

【図8】交通安全教室の様子

交通安全教室では、子どもたちに交通安全の重要性を伝えるとともに、実際に道路を歩いたり、自転車をこいだりして、実践的な学習を行っています。

児童ポルノ被害が最多 全体の35%



【図10】児童ポルノ被害者の年齢別分布

児童ポルノ被害者の年齢別分布を見ると、10歳以上の子どもが最も被害に遭っていることがわかります。これは、インターネットの普及やSNSの利用の増加によるものと見られます。

水辺ではライフジャケット着用を



【図12】水辺での溺死被害者の年齢別分布

水辺での溺死被害者の年齢別分布を見ると、10歳以上の子どもが最も被害に遭っていることがわかります。これは、水辺での遊びの増加やライフジャケットの着用率の低さによるものと見られます。

水難事故

【図13】水難事故の発生状況

水難事故の発生状況を見ると、水辺での遊びが最も多い原因となっています。特に、ライフジャケットの着用が義務付けられていない場合、危険な状況に陥りやすくなります。

【図14】水難事故の発生状況

水難事故の発生状況を見ると、水辺での遊びが最も多い原因となっています。特に、ライフジャケットの着用が義務付けられていない場合、危険な状況に陥りやすくなります。